

平成16年度環境技術実証モデル事業(山岳トイレ技術分野)における 実証対象技術の選定について

平成16年7月30日
長野県生活環境部
環境自然保護課

1 趣旨

環境技術実証モデル事業の山岳トイレ技術分野について、平成16年度の実証対象技術を選定しました。

2 選定技術の概要

平成16年6月21日(月)から平成16年6月30日(水)まで、実証対象技術の募集を行ったところ、8社9件の申請がありました。

長野県環境技術実証モデル事業(山岳トイレ技術分野)技術実証委員会(委員長:藤井恒男 信州大学工学部 教授)を設置し、形式的要件、実証可能性及び環境保全効果等の観点に照らして検討し、環境省の承認を得て、次のとおり実証対象技術1件を選定しました。

【実証対象技術】

- 処理方式 : 生物(好気性)・土壌処理方式(商品名:Abic FB型し尿処理装置)
- 申請者名 : 第一公害プラント 株式会社(長野県飯田市松尾清水 8104)
- 技術の概要

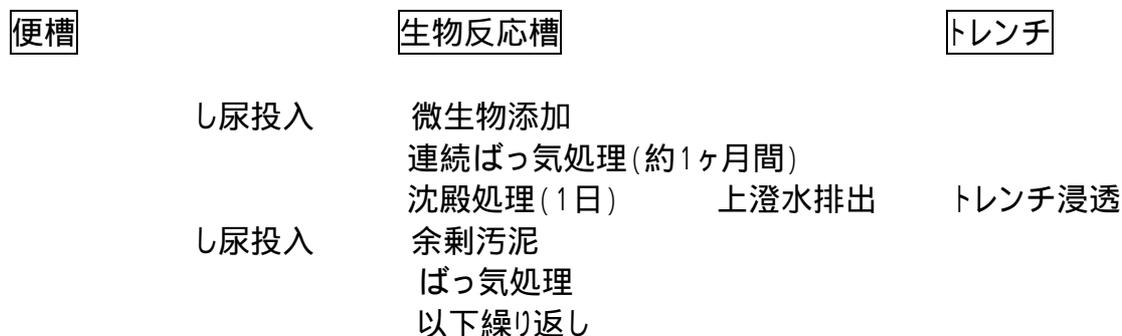
この技術は、無希釈の汲み取りし尿に微生物製剤を添加した後、生物反応槽でバッチ式好気性処理を行い、その処理水をトレンチにより土壌浸透処理する方式で、

- ・希釈水が不要
- ・負荷変動に強い
- ・小型、軽量
- ・高いBOD除去能力

等の特徴を有するし尿処理方式です。

ただし、電力、土壌及びトレンチの面積確保ができる場所であることが前提となります。

し尿処理のフロー



3 環境技術実証モデル事業について

(1) 事業の概要

この事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証する事業をモデル的に実施することにより、環境技術実証の手法・体制の確立を図るとともに、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展につなげることを目的としています。

平成15年度に引き続き、平成16年度においても、この事業の対象技術分野として山岳トイレ技術分野が選ばれ、本年度の実証機関として長野県他3団体が選定され、事業を実施しています。

(2) 今後の予定

7月下旬 実証試験計画の策定

8月上旬から11月中旬 実証試験の実施

3月上旬 実証試験結果報告

問い合わせ先

担当 長野県生活環境部 環境自然保護課 自然公園係 河原 輝久

電話 直通 026 - 235 - 7179

ファクシミリ 026 - 235 - 7498

電子メール kanky@pref.nagano.jp

住所 〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692 - 2

なお、環境技術実証モデル事業全般については、環境省の環境技術実証モデル事業のホームページに詳しく紹介されています。

【環境技術実証モデル事業ホームページ <http://etv-j.eic.or.jp/>】